

愛 媛 県 病 院 事 業 会 計



## 第 5 愛 媛 県 病 院 事 業 会 計

### 1 概 要

#### (1) 事業の実施状況

病院事業会計に属する病院は、中央、今治、南宇和及び新居浜の4病院である。

#### ア 病院の利用状況

病院の利用状況は次表のとおり、入院患者延べ 401,308人、外来患者延べ 758,516人、計 1,159,824人となっており、前年度に比べて入院患者は延べ 20,614人の減少、外来患者は延べ 13,231人の増加、計 7,383人減少している。

病床数は 1,659床で、前年度と同数となっており、病床利用率は 66.09%と前年度 (69.39%) より 3.30ポイント低下している。

病院名	入院・外来別	病床数	平成27年度 (A)			平成26年度 (B)			増減 (△) (A)-(B)		
			延患者数	1日平均患者数	病床利用率	延患者数	1日平均患者数	病床利用率	延患者数	1日平均患者数	病床利用率
中央	入院	827	239,973	655.7	79.28	253,145	693.5	83.86	△ 13,172	△ 37.8	△ 4.58
	外来		421,047	1,732.7		405,931	1,663.7		15,116	69.0	
	計		661,020	2,388.4		659,076	2,357.2		1,944	31.2	
今治	入院	320	67,434	184.2	57.58	72,619	199.0	62.17	△ 5,185	△ 14.8	△ 4.59
	外来		140,072	576.4		140,225	574.7		△ 153	1.7	
	計		207,506	760.6		212,844	773.7		△ 5,338	△ 13.1	
南宇和	入院	199	34,421	94.0	47.26	38,144	104.5	52.51	△ 3,723	△ 10.5	△ 5.25
	外来		76,813	316.1		79,489	325.8		△ 2,676	△ 9.7	
	計		111,234	410.1		117,633	430.3		△ 6,399	△ 20.2	
新居浜	入院	313 (329) ( )は26.9.4まで	59,480	162.5	51.92	58,014	158.9	49.69	1,466	3.6	2.23
	外来		120,584	496.2		119,640	490.3		944	5.9	
	計		180,064	658.7		177,654	649.2		2,410	9.5	
合計	入院	1,659	401,308	1,096.4	66.09	421,922	1,156.0	69.39	△ 20,614	△ 59.6	△ 3.30
	外来		758,516	3,121.4		745,285	3,054.4		13,231	67.0	
	計		1,159,824	4,217.8		1,167,207	4,210.4		△ 7,383	7.4	

## イ 施設及び医療機器の整備状況

### (7) 施設の整備状況

新居浜病院において、本院1階改修等の工事を実施した。

### (イ) 医療機器の整備状況

医療水準の高度化並びに診療及び診療支援業務の合理化・効率化を図るため、中央病院のエキシマレーザー血管形成装置をはじめとして、今治病院の人工透析システム、南宇和病院の生体情報モニタリングシステム、新居浜病院の保育器など総額6億6,268万円で247点の機器を整備している。

## (2) 経営状況

経営状況（消費税等を含まない額）は、医業収益に医業外収益を加えた総収益が43,161,547,499円、医業費用に医業外費用を加えた総費用が43,121,427,340円で、差引き40,120,159円の純利益を生じており、総収支比率（総収益÷総費用×100%）は100.09%となっている。

前年度（9,199,916,827円の純損失）と比較すると、純損益は9,240,036,986円（100.44%）増加し、総収支比率も17.74ポイント上昇している。

また、累積欠損金は20,577,736,607円となっており、前年度より40,120,159円減少している。

## 2 予算及び決算の状況（決算報告書）

予算額に対する決算額及びその内容は、次のとおりである。

## (1) 収益的収入及び支出

## 収 入

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減(△)	執行率 (B)／(A)	備 考
	円	円	円	%	
<b>病院事業収益</b>	<b>47,406,287,000</b>	<b>43,259,115,059</b>	<b>△ 4,147,171,941</b>	<b>91.25</b>	
医業収益	41,027,798,000	36,657,649,464	△ 4,370,148,536	89.35	
医業外収益	6,376,489,000	6,601,465,595	224,976,595	103.53	
特別利益	2,000,000	0	△ 2,000,000	0.00	

病院事業収益決算額は 43,259,115,059円で、予算額に比べて 4,147,171,941円の減収となっており、執行率は 91.25%となっている。

医業収益の主なものは入院収益 25,614,510,484円である。

## 支 出

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)／(A)	備 考
	円	円	円	円	%	
<b>病院事業費</b>	<b>46,927,133,000</b>	<b>42,465,773,145</b>	<b>0</b>	<b>4,461,359,855</b>	<b>90.49</b>	
医業費用	45,818,391,000	41,537,470,546	0	4,280,920,454	90.66	
医業外費用	1,099,242,000	928,302,599	0	170,939,401	84.45	
特別損失	8,000,000	0	0	8,000,000	0.00	
予備費	1,500,000	0	0	1,500,000	0.00	

病院事業費決算額は 42,465,773,145円で、4,461,359,855円の不用額を生じており、執行率は 90.49%となっている。

医業費用の主なものは、給与費 21,759,600,737円、材料費 9,401,998,493円である。

医業費用の不用額の主なものは、材料費、給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減 (△)	執行率 (B) / (A)	備 考
	円	円	円	%	
<b>資 本 的 収 入</b>	<b>5,369,786,000</b>	<b>5,306,985,000</b>	<b>△ 62,801,000</b>	<b>98.83</b>	
企 業 債	689,000,000	626,200,000	△ 62,800,000	90.89	
国 庫 補 助 金	1,000	0	△ 1,000	0.00	
他 会 計 か ら の 借 入 金	3,000,000,000	3,000,000,000	0	100.00	
他 会 計 か ら の 負 担 金	1,680,785,000	1,680,785,000	0	100.00	

資本的収入決算額は 5,306,985,000円で、予算額に比べて 62,801,000円の減収となっており、執行率は 98.83%となっている。

支 出

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B) / (A)	備 考
	円	円	円	円	%	
<b>資 本 的 支 出</b>	<b>7,268,922,000</b>	<b>7,194,029,754</b>	<b>0</b>	<b>74,892,246</b>	<b>98.97</b>	
病 院 設 備 費	1,077,458,000	1,002,566,136	0	74,891,864	93.05	
企 業 債 償 還 金	2,895,464,000	2,895,463,618	0	382	100.00	
他 会 計 か ら の 借 入 金 償 還 金	3,296,000,000	3,296,000,000	0	0	100.00	

資本的支出決算額は 7,194,029,754円で、74,892,246円の不用額を生じており、執行率は 98.97%となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は損益勘定留保資金で補てんしている。

### 3 経営成績（損益計算書）

当年度の経営成績は別表1のとおりで、その内容は次のとおりである。

当年度純利益は 40,120,159円となっており、前年度に比べて 9,240,036,986円（100.44%）増加している。

#### (1) 医業損失

医業収益 36,578,089,754円に対し、医業費用は 41,027,130,807円で、差引き 4,449,041,053円の医業損失を生じており、前年度に比べて 803,962,301円（22.06%）増加している。

医業収益は、前年度に比べて 402,214,045円（1.11%）増加している。これは主として入院収益が減少した一方で、外来収益が増加したことによるものである。

医業費用は、前年度に比べて 1,206,176,346円（3.03%）増加している。これは主として経費が減少した一方で、給与費及び減価償却費が増加したことによるものである。

#### (2) 経常利益

医業損失に医業外収益 6,583,457,745円を加え、医業外費用 2,094,296,533円を差し引いた経常利益は 40,120,159円となっており、前年度に比べて 778,215,171円（95.10%）減少している。

医業外収益は、前年度に比べて 119,020,925円（1.84%）増加している。これは主としてその他医業外収益が減少した一方で、一般会計からの負担金及び長期前受金戻入が増加したことによるものである。

医業外費用は、前年度に比べて 93,273,795円（4.66%）増加している。これは主として非課税売上分消費税が増加したことによるものである。

#### (3) 当年度純利益

経常利益の 40,120,159円が当年度純利益となっており、前年度に比べて 9,240,036,986円（100.44%）増加している。

なお、病院別損益の状況は別表3のとおりである。

### 4 剰余金の状況（剰余金計算書）

当年度における剰余金の増減については、次のとおりである。

#### (1) 資本剰余金

前年度末残高 2,997,363,242円から、議会の議決に基づき欠損金処理のため 2,677,716,656円を繰入れた資本剰余金の当年度末残高は 319,646,586円となっている。残高の内容は受贈財産評価額である。

## (2) 未処理欠損金

前年度繰越欠損金 20,617,856,766円から、当年度純利益 40,120,159円を加えた当年度末の未処理欠損金残高は 20,577,736,607円となっている。

## 5 財政状態（貸借対照表）

当年度末における財政状態は別表2のとおりで、その内容は次のとおりである。

資産は 55,757,729,038円となっており、前年度に比べて 2,362,677,742円（4.07%）減少している。

負債は 68,967,774,681円、資本は △13,210,045,643円となっており、前年度に比べて負債は 2,402,797,901円（3.37%）減少し、資本は 40,120,159円（0.30%）増加している。

### (1) 資 産

ア 固定資産は 45,569,831,164円で、資産合計に対する構成比率は 81.73%となっており、前年度に比べて 2,439,419,216円減少している。これは主としてリース資産が増加した一方で、病院設備が減少したことによるものである。

イ 流動資産は 10,187,897,874円で、資産合計に対する構成比率は 18.27%となっており、前年度に比べて 76,741,474円増加している。これは主として現金預金が減少した一方で、未収金が増加したことによるものである。

なお、未収金 7,138,304,645円のうち医業未収金は 7,039,893,325円で、その内容は、保険者負担分 6,476,671,165円、個人負担分 563,222,160円となっており、個人負担分のうち過年度未収金は 399,152,150円となっている。

### (2) 負 債

ア 固定負債は 52,588,340,323円で、負債資本合計に対する構成比率は 94.32%となっており、前年度に比べて 2,573,600,836円減少している。これは、退職給付引当金が増加した一方で、建設改良費等の財源に充てるための企業債が減少したことによるものである。

イ 流動負債は 8,776,817,056円で、負債資本合計に対する構成比率は 15.74%となっており、前年度に比べて 458,159,476円増加している。これは主として、未払金、建設改良費等の財源に充てるための企業債が増加したことによるものである。

ウ 繰延収益は 7,602,617,302円で、負債資本合計に対する構成比率は 13.64%となっており、前年度に比べて 287,356,541円減少し



ている。

### (3) 資 本

ア 資本金は 7,048,044,378円で、負債資本合計に対する構成比率は 12.64%となっており、前年度と同額である。

イ 剰余金の内訳は、資本剰余金 319,646,586円、欠損金 20,577,736,607円となっている。

## 6 キャッシュ・フロー（キャッシュ・フロー計算書）

当年度におけるキャッシュ・フローは別表4のとおりで、その内容は次のとおりである。

業務活動によるキャッシュ・フローは 1,625,353,966円、投資活動によるキャッシュ・フローは 948,895,979円、財務活動によるキャッシュ・フローは △2,860,985,568円となっている。資金期末残高は 3,065,159,401円となっており、前年度に比べて 286,735,623円減少している。